

経営比較分析表（令和3年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 信州医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I未訓	救臨感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	23,670	非該当	非該当	10:1

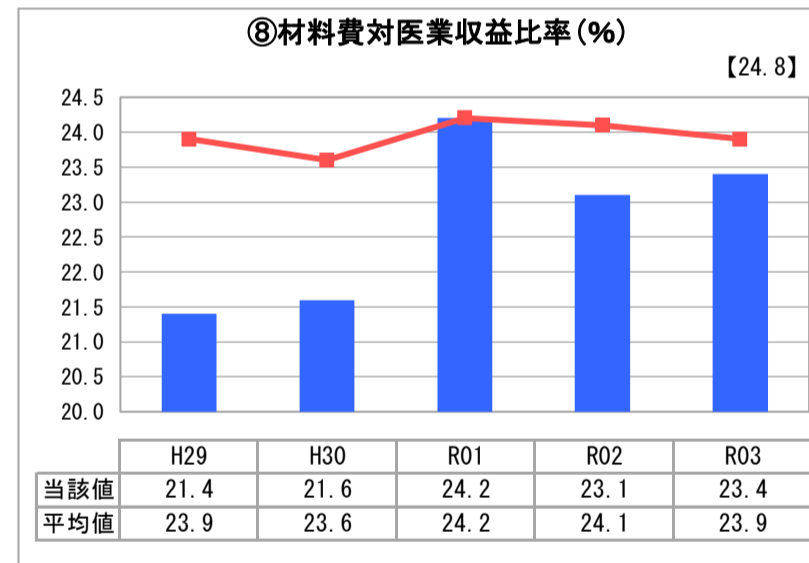
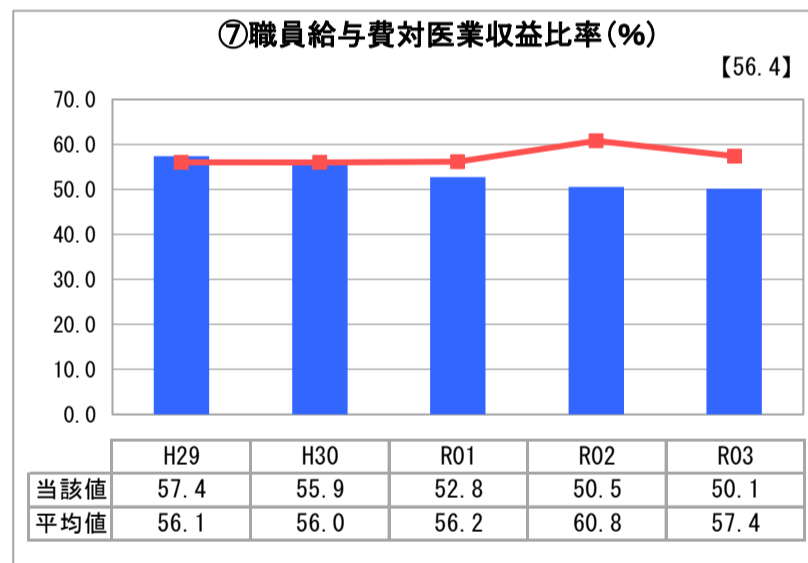
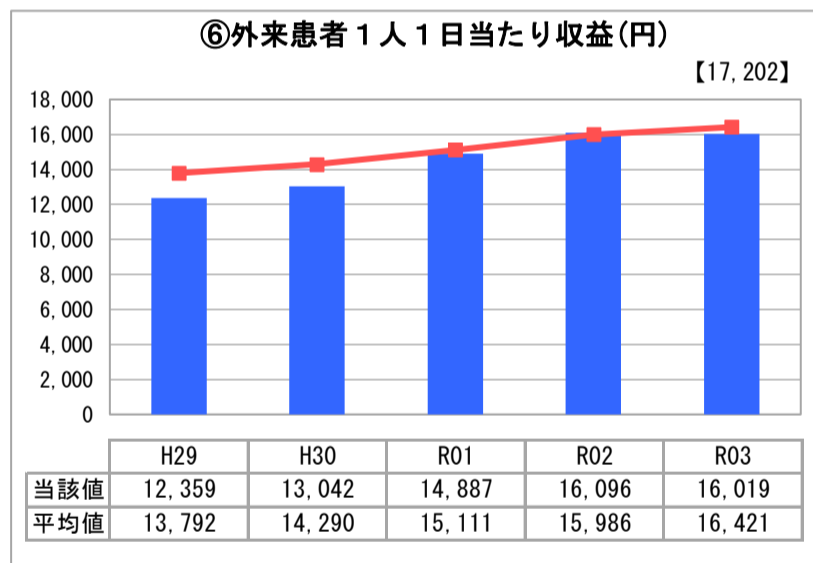
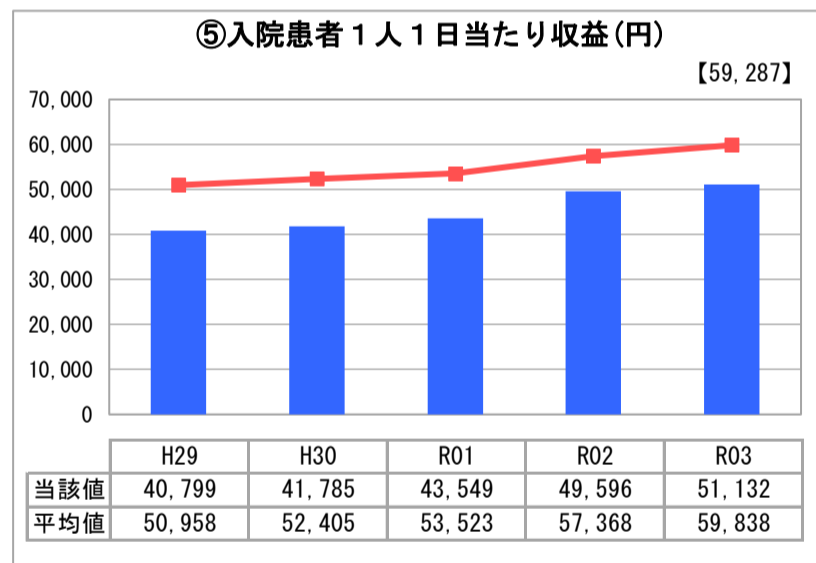
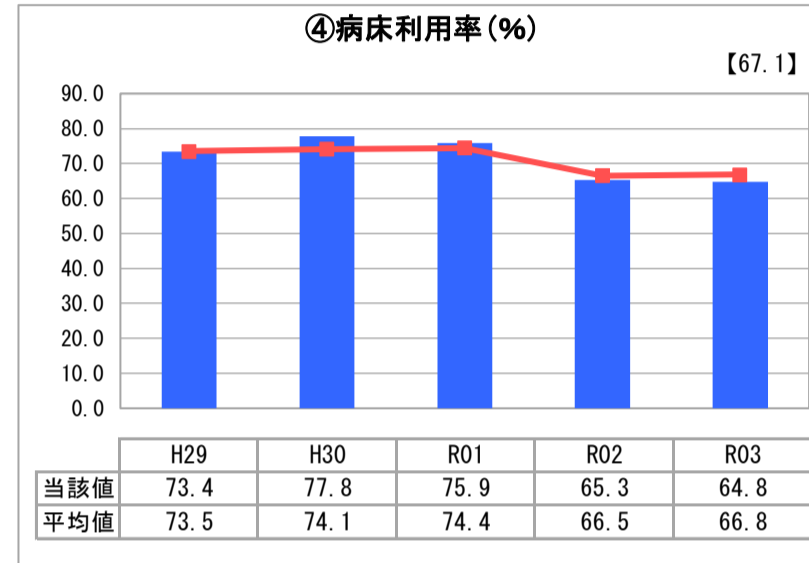
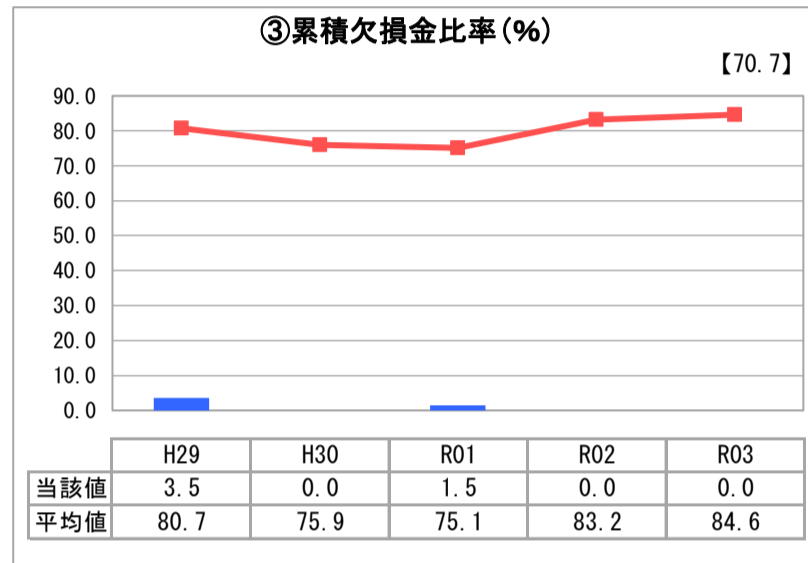
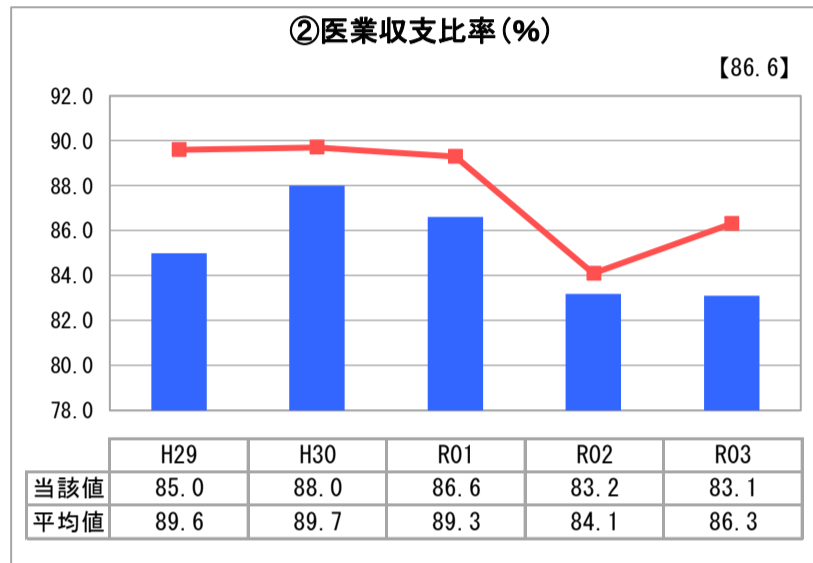
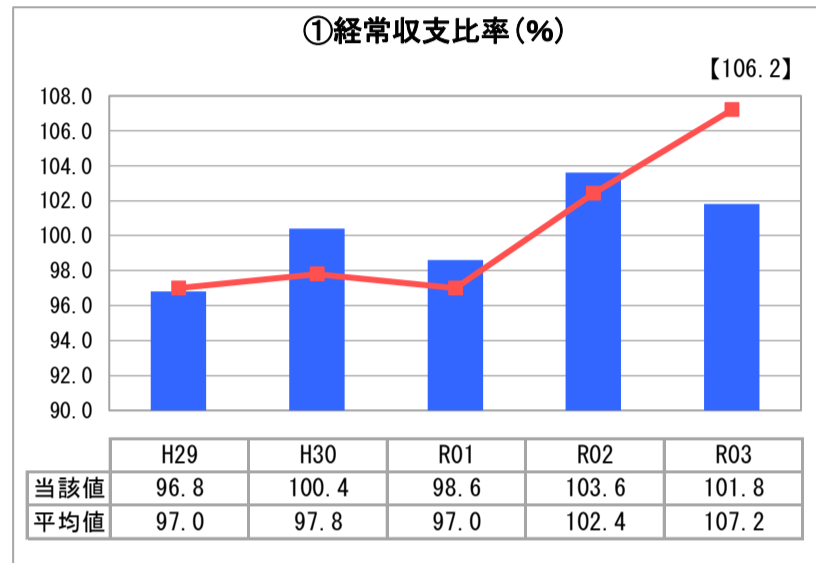
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

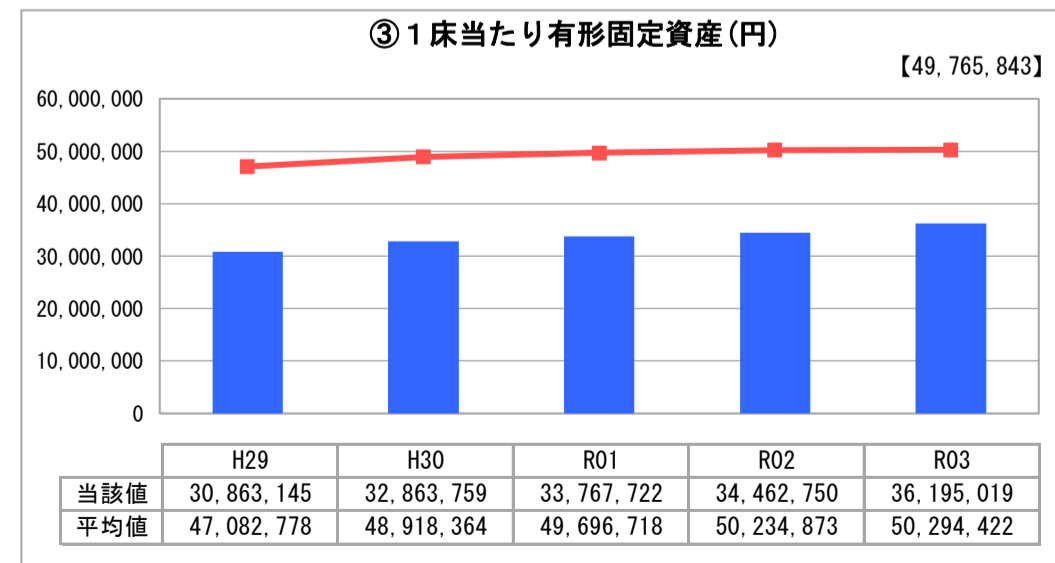
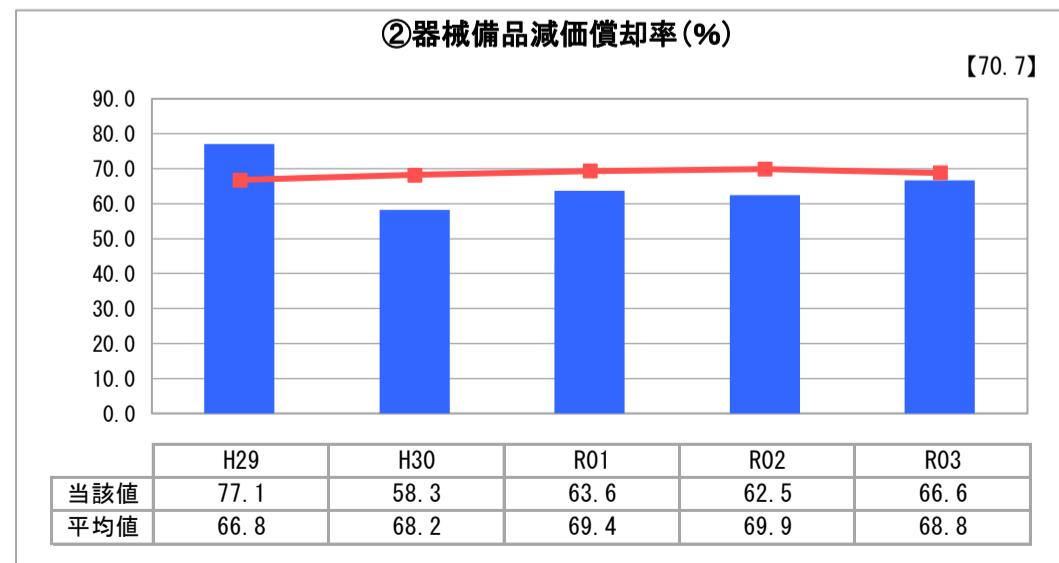
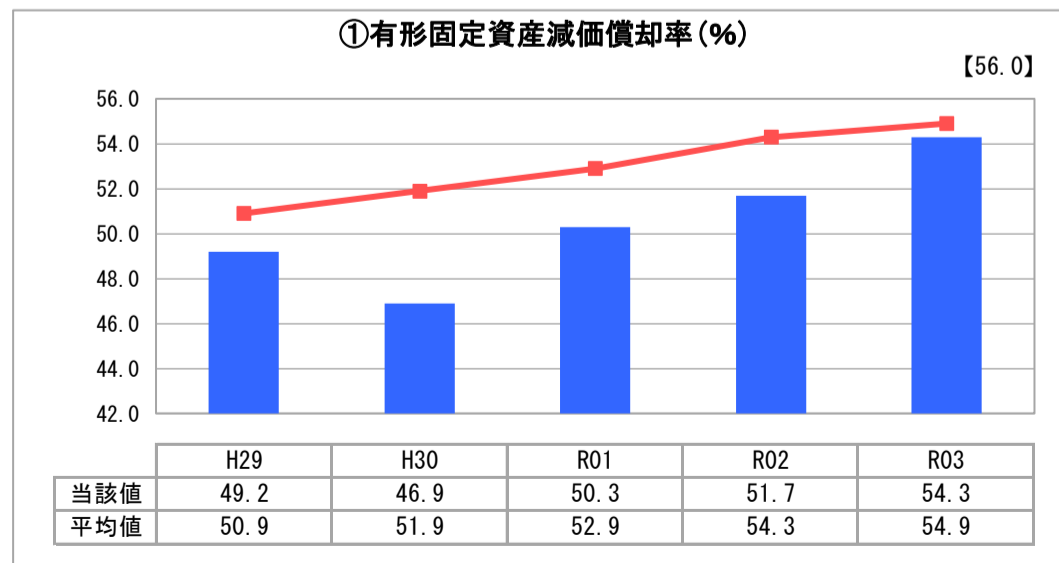
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
292	-	24
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
232	-	232

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	平成22年度	-

I 地域において担っている役割

当院は、須高地域（須坂市・小布施町・高山村）の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っている。

内視鏡センターや専門外来等を設け、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと多面的な診療機能を発揮している。

また、地域包括ケア病棟を有し、地域医療機関や介護施設等との連携を図り、地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしている。

さらに、人材育成研修機能として、スキルスラボを活用したシミュレーション研修や自治医科大学卒業医師などの臨床研修病院としての機能も果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和3年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により100%を超える比率となったものの、前年度を下回った。②医業収支比率では、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度横這い、類似病院平均値よりは下回った。

・④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続いたことにより前年度横這いとなった。

2. 老朽化の状況について

減価償却率は増加傾向にあるが、類似病院平均値より下回っている。

建物建設から20年が経過し、多くの施設設備や医療機器において経年劣化が進んでおり、故障や修理が増加している。

今後、年数の経過と共にさらに老朽化が進行し、更新が必要な施設設備や医療機器の増加及び更新費用の増大が見込まれるが、中長期的な更新計画を策定し、緊急度、優先度を精査した更新投資を行っていく必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題に対処するとともに、引き続き地域の医療ニーズに応じた診療体制の充実を図り、医療の質の向上に努めるとともに、安定した患者の確保、病床利用率の向上、高い診療単価の維持による収益増加と費用節減を行い、経営安定化を図る。

また、診療機能を維持していくため、老朽化が進んだ設備・機器の状態を把握し、緊急度、優先度の精査を行いながら、計画的な更新を進めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。